

(アジア)

(1) ネパール シスター金谷美代子 ネパール大地震に対しての緊急支援

2015 年はネパールにとって大きな試練の年でした。ほとんど地震というものを体験していなかった人々が、突然大地震に見舞われ、多くの愛すべき人々と住む家、学校などを失いました。温かいお志を届けてくださった皆様に、新しい年にも神様の豊かな御祝福とお恵みがあります様にお祈り申し上げます。感謝のうちに！ バンディプール共同体 シスター一同
支援に対して現地の声：「頂いたご寄付とローンで大きな一部屋の家を建てることができました。ありがとう！」、「冷たい地面に蓆を敷いて寝ています。フォームの敷物や毛布を戴いて助かります。お米やダル豆もありがとうございました！感謝！」、「部屋の中は暖かいです。お米をもらって助かりました。」

(2) フィリピン シスター景山ひろ 街中に住む貧しい子供たちへの奨学金

バゴロド市の子供達への奨学金という JOMAS が提供するこのプログラムにより学生だけでなく、その家族そのものを進歩させている。かつて貧困にあえいでいた家族は、その子供たちがカレッジでの 4 年の勉学を終え、よい仕事を得ることによってよりよい生活が保証され、家族に喜びと希望を与えている。

昨年 10 名がカレッジを卒業した。内 7 名は定職に就き賃金も安定している。工業科を卒業した 1 名は試験を通り現在フィリピン最大の砂糖工場、the Victorias Milling Company で働いている。現在彼は妹をカレッジに通わせている。

JOMAS 奨学生およびその家族はカレッジ教育を終了することがどれだけ重要なことなのか、という事の生き証人であり、そのことが他の貧しい家族たちに、子供への教育のためによく働く、ということの重要性を教えている。行政官も私たちがこの奨学制度を通じて貧しい家族を助けているという努力を認め、感謝している。

私たちが提供している生徒、両親への訓練の多くは彼らの生活を変え、多くが地域活動や教会の活動など社会活動に関わっている。彼らは今、意味のある、生産的な生活を送っている。

(3) フィリピン フィリピンのイリガン市 Catholic Center Campus Ministry(CCCM)のスカラシッププログラム 「奨学生からのお礼状」

皆様が私たちに与えてくださった経済的、また道徳的支援のすべてに感謝します。私たちの人生で皆様にめぐり会えたことは本当に恵まれたことだと思います。皆様のおかげで、私たちはまだ学校に通うことができます。皆様はまるで私たちの第二の親のように、私たちを学校へ通わせ、私たちに明るくよりよい未来を与えてくださいます。皆様は私たちの出自をご存じないにもかかわらず、私たちが信頼して支えてくださいます。皆様も災害で被害を受けられたにもかかわらず、また私たちの生活に責任があるわけではないにも関わらず、私たちを助けようという気持ちを持ち続けておられます。

私が個人的には皆様を知らないので直接お会いしてにっこりとほほ笑みながら、また強く抱きしめながら「ありがとう」とお礼を言うことができないこと、また、単なる「ありがとう」という言葉では皆様がしてくださったご厚意に十分ではない、とは知りながらも、皆様が温かいお気持ちでこの手紙を読んでくださっていることに感謝しないではいられません。皆様の愛とお気遣いを本当に感じるができます。何もかも、本当にありがとうございます。

(南米)

ボリビア シスター立石順子 乳児院オガールファティマのミルク購入援助

ボリビアは 30 度を超える真夏の日々を過ごしております。それでも子供たちは、暑さに負けることなく元気に過ごさせてもらっています。オガールファティマは、先月 6 名の子供たちが、他の施設へと巣立って行きました。

女の子 3 名は『イエスのみ心 Sagrado Corazón』と言う施設へ、男の子 3 名は『ドン・ボスコ Don Bosco』と言う、お隣のサレジオ会館の施設へ行きました。男の子 3 名とは、いつも日曜日のミサで会うので、その度に、まるで何年も会っていなかったかの様な再会をしています。まだ 5、6 年しか生きていない子供たちが、『家庭』を変わって行かなければならない現実はとても辛いものがありますが、それと同時に、この子供たちが神様から貰っている宝を、思い存分発揮しながら、これからの生活を送って行く事が出来るよう願う毎日です。いつも子供たちは、私たちの心配をよそに、輝く瞳と、満面の笑顔で支えてくれています。続けてこの子供たちの為また、暑い中にも懸命に子供たちの為働いている職員の為にもお祈りくださいませ。